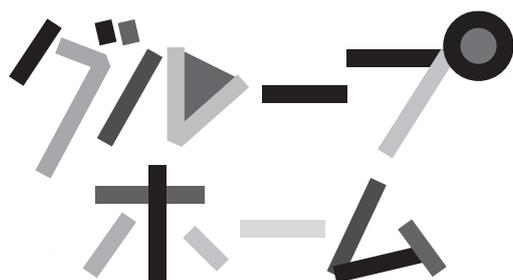


障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

季刊
〈号外〉



第17回 日本グループホーム学会 オンライン全国大会

開催要綱

編集：障害のある人と援助者でつくる
日本グループホーム学会

【大会開催趣旨】

コロナ禍での2回目の夏が過ぎようとしています。感染リスクに神経をすり減らす日々が続いていると思います。このような経験は私たちに「人が人として社会で生活するために大切なものは何か」を、これまでよりも切実に考えさせているように思いますが、皆さんはいかがでしょう。

障害者自立支援法スタート以来、さまざまな微修正を繰り返す共同生活援助事業を活用しながら、障害のある人の暮らしが一人ひとりにとって豊かなものになることを目指す取り組みが積み重ねられてきました。しかし、「人が地域社会で、人として生活すること」を支援する今後の取り組みをより豊かなものにするためには、共同生活援助事業は「一つの選択肢であって、それだけではなく他にも現実的な方法がある」状態が望ましいのではないのでしょうか。その展望を語り合うスタートにしたいと思います。

【開催概要】

大会テーマ：『 私らしく地域で暮らす～これからの展望 』

主催：障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

日程(動画配信期間)：2021年10月10日(日)10:00～11月10日(水)22:00

大会参加費：1人当たり 会員 1,000円 非会員 2,000円

形式：YouTube(限定配信)による動画視聴

- *インターネットに接続して動画視聴できるパソコンやスマートフォン等の機器が必要です。期間中であれば何度でも視聴できます。

参加申込方法：学会事務局宛メールで申し込み、締め切り日までに下記の口座に参加費をお振り込みください。

9月30日(木)申込〆切

- *メール info@jgh-gakkai.com まで、参加者氏名、メールアドレス、会員か非会員の別(会員の場合は可能であれば会員番号を記入してください)、連絡先電話番号を明記してお申し込みください。複数名まとめた申し込みも可能です。

- *参加費の支払い 会員の方は必ず会員登録している方のお名前を明記してお振り込みください。まとめて複数名の振り込みも可能ですが、人数と会員・非会員の別に応じた合計

額をお支払いください。手数料はご負担ください。郵便振替受領書を領収書に代えさせていただきます。

振込先(ゆうちょ銀行)

口座記号・番号 00130-3-463094

加入者名 日本グループホーム学会

.....

ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振込の場合

銀行名 ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番:019 預金種目:当座

店名:〇一九 店(ゼロイチキユウ店) 口座番号:0463094

*メールでのお申し込みと振り込みを確認したのち、事務局から動画視聴できる URL と資料をメールでお送りします。10 月 10 日以降になってもメールが届かない場合は、ご連絡ください。

.....

〈プログラム1〉

座談会「私らしく地域で暮らす～変わらず大切にしていきたいこと」

加藤哲嗣(徳島入居者委員会)

山田智子(徳島入居者委員会)

中澤 健

山田 優

この座談会では、私らしく地域で暮らすために変わらず大切にしていきたいことを話し合います。「私たちのことを私たち抜きに決めないで」は大切だと考え、入居者本人が話し合いに加わります。新人の職員さんや入居者本人にもできるだけわかりやすいように話します。

まず、中澤健さんがグループホーム制度をつくったときのいきさつや考え方を説明します。次に、山田優さんが制度の移り変わりやグループホームが変わってきたことを説明します。そして、加藤哲嗣さんと山田智子さんが徳島入居者委員会の意見を二人に説明しながら話し合います。

(中澤健さんは厚生省の障害福祉専門官として国のグループホーム制度をつくった人です。山田優さんは長野県西駒郷の地域生活移行を推進した、日本グループホーム学会の元代表です。)

〈プログラム2〉

シンポジウム「共同生活援助事業の今後に関する国の動向への提言」

NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会 あみ

認定 NPO 法人 DPI 日本会議

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

日本グループホーム学会 運営委員 光増昌久

障害者総合支援法の前回改正から3年目にあたる今年は、社会保障審議会障害者部会において、グループホームのあり方についても改正内容の議論が取りまとめられようとしています。その議論の重要な素材にもなっていると思われる報告書『障害者支援のあり方に関する調査研究－グループホーム、地域生活支援の在り方－』（PwC コンサルティング合同会社）には、グループホームを通過型とそれ以外に分ける方向性が提案されています。このような動向についての各団体の考え方を出し合い、課題を議論します。

〈プログラム3〉

リレートーク「複数人で暮らす多様なあり方を実現可能な選択肢に」

室津 滋樹(日本グループホーム学会)

二関 郁子(日本グループホーム学会):相談支援専門員としての経験から

ほんぼやし
本林 直人(社会福祉法人西陣会):シェアハウスの実践から

どこで暮らすかを強制されず、誰とどんなふうに暮らしたいかを自分で決められることはとても重要な権利です。しかし、ひとりで暮らすのは不安だったり、一緒に暮らしたい人がいたり、寂しくない暮らし方がしたい人にとって、今は共同生活援助事業しか現実的選択肢がありません。もっと柔軟な発想でこれからの楽しい暮らし方の可能性を考えていくために、課題と実践例を共有します。

〈プログラム4〉

講座1「都市再生特別措置法改正の影響と対応」

大西一嘉(神戸大学、日本グループホーム学会防災アドバイザー)

近年の自然災害の頻発・激甚化に対応して、都市再生特別措置法等が改正されました。令和4年4月1日からは、災害レッドゾーンにおける社会福祉施設等の新規立地が禁止され、既存グループホームにも移転等何らかの対応が課題となります。改正の影響と今後の対応について解説します。

〈プログラム5〉

講座2「線状降水帯って何？ 豪雨災害に備える」

大西一嘉(神戸大学、日本グループホーム学会防災アドバイザー)

近年の水害は、台風によるものだけでなく「線状降水帯」が発生している気象状況において大きな被害が出ています。この線状降水帯の特徴を知って適切な対応ができるようになるために、基本的なことを解説します。

1971年6月17日第三種郵便物認可（毎月6回5の日・09日発行）2021年9月5日発行 SSK 増刊通巻第5615号
発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-17-102 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100円(税込)